## 2023 年制定 コンクリート標準示方書[施工編:施工標準] 正誤表

2025/3/27

頁	行		誤		Œ					
143		解説 表10.2.1 初期凍害を防 がC以上の温度制御養生と所定の湿潤養生を行 複定当れる気象条件 (1) 厳しい気象条件 (2) まれに凍結酸解する程度の気象条件		<b>基合</b> .0 5		Market Street	Eとなる圧縮強度の目安(N/mm <sup>2</sup> ) 断面の大き音 章い場合 普通の場合 厚い場合 13 12 10 5 5 5			
143		解説 表10.2.2 所定の圧縮強度を得る温度制御養生期間の目安(断面の大きさが普通の場合 なメントの種類をよれる気象条件 第五組度 第五組度 早時ポルトランドセメ を			解説 表10.2.2 所定の圧縮強度を得る温度制御養生期間の目安(断菌の大きさが普通の場合)  5*C以上の温度制御業生と所定の温潤業生を行った後に想 養生温度					
263		解説 表 6.2.4 再生骨材コンク		解説 表 6.2.4 再生骨材コンクリートの種類と使用する再生骨材の組合せ						
		再生骨材コンクリートの種類 粗骨を	細骨材	-	再生骨材コンクリートの種類	粗骨材	細骨材			
		再生骨材コンクリート M1 粗骨材の全部またはその-	部が再生粗骨材 M <sup>1)</sup>	_	再生骨材コンクリート M1	粗骨材の全部またはその一部が再生粗骨材 M <sup>11</sup>				
		再生骨材コンクリート M1 租骨材の全部またはその- (耐凍害品) 0.08 以下の再生租骨材 M	部が FM 凍害指数 普通細骨材		再生骨材コンクリート M1 (耐凍害品)	租骨材の全部またはその一部が FM 凍害指数 0.08 以下の再生租骨材 M	普通細骨材			
		再生骨材コンクリート M2 粗骨材の全部またはその- M <sup>1)</sup> , もしくは粗骨材の全	細骨材の全部またはその一部が再生細骨材 M2)	_	再生骨材コンクリート M2	租骨材の全部またはその一部が再生粗骨材 M <sup>1)</sup> , もしくは粗骨材の全てが普通粗骨材	細骨材の全部またはその一部が再生細骨材 M <sup>2)</sup>			
		再生骨材コンクリートL 粗骨材あるいは細骨材のいずれかまたは両者において、その全部またはその一部が再生骨材 L		_	再生骨材コンクリートL 粗骨材あるいは細骨材のいずれかまたは両者において、その全部またはその一部が再生骨材 L					
		1) 再生骨材 M の基準値を満足する再生粗骨材 L に、容積混合率 50%以下で普通租骨材を混合したものを含む。			1) 再生租骨材 L を体積混合率 50%以下で善通租骨材と混合したものを含む. ただし、粒度による区分が異なるものどうしを混合し					
		<ol> <li>再生骨材 M の基準値を満足する再生細骨材 L に、容積流</li> </ol>		てはならず、再生租骨材 L は JIS A 5022 の A.3.1 (不純物量) の規定を満足しなければならない、また、混合後の租骨材は、JIS A 5022 の A.3 (品質) を満足しなければならない。  2) 再生細骨材 L を体積混合率 30%以下で普通細骨材と混合したものを含む、ただし、再生細骨材 L は、JIS A 5022 の A.3.1 (不純物量) の規定を満足しなければならない。また、混合後の細骨材は、JIS A 5022 の A.3 (品質) を満足しなければならない。						

286	スンラプフロー			スランプフロ	スランプフロー				
~									
287									
320	解説 表 13.5.2 水中不分離性コンクリートの品質管理における検査					解説 表 13.5.2 水中不分離性コンクリートの品質管理における検査			
	項目	試験方法	頻度 (時期)	判定基準	項目	試験方法	頻度 (時期)	判定基準	
	水中気中強度比	JIS A 1108(供試体の作製: JSCE-F 504)	工事開始前	一般の場合:0.7以上 鉄筋コンクリートの場合:0.8以上	水中気中強度比	JIS A 1108(供試体の作製: JSCE-F 504)	工事開始前	一般の場合:0.7以上 鉄筋コンクリートの場合:0.8以上	
	水中分離度	JSCE-D 104	工事開始前	懸濁物質量:50mg/L 以下 pH:12.0 以下	木中分離度	JSCE-D 104	工事開始前	懸濁物質量:50mg/L以下 pH:12.0以下	
	スランプフロー	ЛS A 1150	20~150m³ごとに 1回	指定値 ± 3cm	スランプフロー	ЛS A 1150	20~150m³ごとに 1回	設定値 ±3cm	